（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	きらめき宜野湾

公表日　令和8年　3月　31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		活動部屋と、静かに過ごす部屋を分けて使用できる工夫をしている	支援員一人一人のご協力に感謝いたします。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7		人員が足りていない場合は支援員が声をかけあって児童が安全に過ごせるようにしている	支援員一人一人のご協力に感謝いたします。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		活動内容の視覚化、時計の工夫などでどの児童にもわかりやすい環境つくりを心がけている	その都度、困り感やヒヤリハットなどで気が付いた個所は対処してる
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		活動部屋は、安全性を考慮し、壁や危険な個所にクッション材をつけている。 午睡部屋は刺激が少ないようシンプルにし、落ち着ける空間を確保している。 営業終了後の室内清掃、おもちゃの消毒、開所前の点検などで清潔を保つことを心がけている。	支援員一人一人のご協力に感謝いたします。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		こどもの状況に合わせて個別の部屋を提供したり、活動内容に応じて部屋の使い方を工夫している	支援員一人一人のご協力に感謝いたします。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		朝礼や事業所会議などで支援の振り返りや計画書の評価、見直しを行っている	支援員一人一人のご協力に感謝いたします。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	会議の時に情報の共有が行われ、改善点に関しても職員一人一人の意見を聞き取り話し合う機会を設けている。 ・あまり理解できていない	保護者評価の結果は、会議の場で共有するように心がけているが、全員が理解できるように伝達方法を考えていきます
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		朝礼、会議などでイベントや支援、児童の特性など共有する時間を設け改善している	支援員一人一人のご協力に感謝いたします。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4	・外部の外部評価が出来ているか把握できていない。 ・外部評価は出来ていないので他事業所の意見を聞いている。	現在第三者による外部評価は行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		法人内で発信されている動画研修は、出来るだけ勤務時間内で受講できるように声掛けを行っている。法人内でも講師を招き啓作書作成のための研修を行った	今後は、外部の研修などにも職員を派遣して、スキルアップを心がけていきたい
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		法人内で発信されている動画研修は、出来るだけ勤務時間内で受講できるように声掛けを行っている。法人内でも講師を招き啓作書作成のための研修を行った	今後は、外部の研修などにも職員を派遣して、スキルアップを心がけていきたい
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		計画書作成に直接かかわることはないが、情報の共有、保護者の困り感は聞き取り、チームで支援内容を決め、作成している	支援員一人一人のご協力に感謝いたします。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		定期的にケース会議を開き、情報の共有、支援内容の共有が行われている	支援員一人一人のご協力に感謝いたします。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	7		定期的にケース会議を開き、情報の共有、支援内容の共有が行われている	支援員一人一人のご協力に感謝いたします。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	ツールをつかったアセスメントは出来ていないが、支援での様子、家庭での様子をこまめに聞き取り、生活の質の向上と自立に向けて職員間で情報を共有している	支援員一人一人のご協力に感謝いたします。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		支援計画書には、ガイドラインに記載がある、児童の支援に必要な項目は記載しています。	入職間もない支援員には、一つ一つの項目を丁寧に説明していきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		支援員一人一人が目的を持って、活動内容を提案し、月のプログラムに反映している。	支援員一人一人のご協力に感謝いたします。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	支援員がアイディアを出し合ってやりたいことを発信、個々の興味関心に繋げられるように工夫している	曜日ごとにメンバーが違うため全員に機会を与えているとはいいがたいと意見があったので、シフトや希望休などで支援員の入る時間帯などがバラバラではあるが上手く意見を出し合えるよう会議などで工夫していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		児童の特性に合わせた支援計画書を作成し、個別、小集団活動を組み合わせって支援している。	職員一人一人のご協力に感謝しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	朝礼でその日の活動について伝達は出来ているが、シフトの関係で朝礼に参加出来ていない支援員には声掛けで役割の分担など伝えている。	シフトの関係上支援員全員に周知出来ているとは言いがたい、との意見があったので、声掛けなど促しているつもりではあるが、周知出来る方法をみんなで話し合っていきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	6	1	翌日の朝礼や、緊急性のあるものは支援終了後に情報の共有している。	シフトの関係上支援員全員に周知出来ているとは言いがたい、との意見があったので、声掛けなど促しているつもりではあるが、周知出来る方法をみんなで話し合っていきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		ソフトに記録は毎日行っている。	支援員一人一人のご協力に感謝いたします。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		児童発達支援管理責任者がモニタリングに参加し、内容の報告、情報の共有を行い支援の見直しをその都度行っている。	支援員一人一人のご協力に感謝いたします。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	1	支援員が出来るだけ4つの基本活動に添った内容のプログラムを提案しています	支援員全員が4つの基本活動を理解しより良い活動の提供を心がけていきたい
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		活動への参加も無理に促すのではなく選択できるように声掛けを心がけ出来るだけ意向に添った内容の支援をっ心がけている	支援員一人一人のご協力に感謝いたします。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	児童発達支援管理責任者がモニタリングに参加し、内容の報告、情報の共有を行い支援の見直しをその都度行っている。	直接その業務に携わっていないのでわからいとの意見がありましたが、児童発達管理責任者が会議の前に支援員より児童の情報を聞き取り現状を理解し、会議に参加しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	支援会議を通して、保育園、幼稚園、医療機関と連携を取り会議にで情報を共有している	直接その業務に携わっていないのでわからいとの意見がありましたが、児童発達管理責任者が関係機関から情報を聞き取り会議で共有しています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	地域の情報にアンテナを向け情報を得たときには保護者へ確認し、学校の行事や下校時間の変更に対応できるようにしている	支援員一人一人のご協力に感謝いたします。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	担当者会議への参加をお願いしているがどうしても参加が難しいときは相談員を通して相互理解に努めています	支援員一人一人のご協力に感謝いたします。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	5	まだ対象児童がいないので出来ていませんが今後対象者がいた場合は対応していきたい	支援員一人一人のご協力に感謝いたします。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	1	6	現在地域の児童発達センターとの連携は出来ていません	連携を図る必要はあると思っているので他事業所などに確認し方法を検討していきたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		7	現在出来ていません	地域の児童クラブなどと交流が出来るような企画を提案していきたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	6	スケジュールが合えば宜野湾市の自立支援協議会へ管理者が参加しています	ご理解ください
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時間を利用して、保護者と話す時間を設け、困り感を共有している。なかなか会えない保護者には、LINEを利用したり、電話で連絡を取っている。	支援員一人一人のご協力に感謝いたします。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	保護者交流会での意見の交換会や、外部研修のお知らせは、掲示板への張り出し、公式LINEでの発信を心がけ情報を提供しています	支援員一人一人のご協力に感謝いたします。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	契約時に重要事項や契約内容の説明は行っています。	あまり、理解できていないという意見があったので、契約時にどのような説明をしているのか伝えていきたい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1	モニタリングの時や、送迎時等保護者よりニーズを確認し支援計画に取り入れるようにしている。	あまり、理解できていないという意見があったので、支援計画作成の流れを理解できるように伝えていきたい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	7		支援計画書を作成して、サインをいただく時に保護者へ支援の同意は得ている	支援員一人一人のご協力に感謝いたします。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		保護者からの相談に対して、間違った情報を伝えないよう、自分の主観ではなく、事業所としての取り組みを伝えていくようにしている	職員一人一人のご協力に感謝しています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7		年に1～2回保護者交流会を企画し、保護者、兄弟との交流する機会を作っている	・次年度からは2～3回交流会が出来るよう提案したい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		保護者の困り感は支援員で共有し、出来るだけ児童のより良い支援につなげていけるようにしています。	支援員一人一人のご協力に感謝いたします。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		事業所の公式LINEやきらめきホームページへのブログなどで活動の様子や、交流会の様子を発信している。	支援員一人一人のご協力に感謝いたします。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		契約書などは鍵付きの書庫で保管。その他個人情報（写真・電話番号等）職員に定期的に発信し、情報の漏洩に注意している	支援員一人一人のご協力に感謝いたします。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		それぞれにあった。支援で意思の疎通を図るように心がけている。イラスト・絵カード等	支援員一人一人のご協力に感謝しています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7	現在出来ていません	他事業所の取り組みや支援員からのアイディアを提案してもらいながら出来るようにしたい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		事業所には様々な事故・災害・感染マニュアルを策定し、支援員が見やすい場所に置いてある。保護者への周知が出来ていない。 訓練は年2回以上行い公式LINEで発信している。	公式LINEを使ってマニュアルの発信をやっていきたい
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2	避難訓練などは計画して年に2回以上取んでいる	支援員一人一人のご協力に感謝いたします。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	契約時に確認。また、服薬や発作の対応に関しては、病院の指示書に基づき、保護者の同意書をもらってっ対処できるようにしている	管理者不在の時の対応に関して、法人内の看護師と連携を取っていきたい
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	4	現在食物アレルギーの児童はいない	今後食物アレルギーの児童の受け入れがあった場合には、対処していきたい
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	支援員の気づきの中で、対処が必要な場合は早急に対応するよう、支援員が声を掛け合うなどしている	支援員一人一人のご協力に感謝しています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	7		安全確保に関して、家族への周知は出来ていないが、必要に応じて公式LINEでの発信は行っている。	質問の内容があまり理解できていない。また、業務としておっこなっていないとの声がありましたが、業務の一環として支援員一人一人が理解できるように会議などで共有していきたい
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハット報告が必要な時はその都度記入し、速やかに支援員で内容の共有を行っている。	支援員一人一人のご協力に感謝いたします。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		年に2回以上研修動画が発信され、職員は必須で視聴している	まだ、理解できていない支援員のために会議などで虐待防止研修の必要性を伝えていく
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		身体拘束の同意に関しては契約時に保護者へ説明、同意書をもらっている	契約時にもらう同意書の内容に関しても会議などで共有し、支援員が理解できるように伝えていきたい